

■当日スケジュール(詳細)

1. 報道関係者向け事業説明会 10:00~10:30 宮古市民文化会館 1階展示室
  
2. 竣工式 10:45~12:30 宮古市民文化会館 大ホール
  - (1) アトラクション <宮古水産高校(太鼓)>
  - (2) 開会(岩手県教育委員会 教育次長兼学校教育室長 平賀信二)
  - (3) 式辞(岩手県知事 達増拓也)
  - (4) 挨拶(日本財団 常務理事 海野光行)
  - (5) 工事経過報告(岩手県教育委員会 教育長 高橋嘉行)
  - (6) 祝辞(岩手県議会議長 千葉伝、文科省防災推進室長 磯山武司)
  - (7) 来賓紹介・祝電披露
  - (8) 生徒代表謝辞(宮古水産高校海洋技術科1年 佐々木智輝)
  - (9) アトラクション<高田高校(合唱)、久慈東高校(吹奏楽・あまくらぶ)>
  - (10) 閉会(岩手県教育委員会 教育次長兼学校教育室長 平賀信二) ~バスで藤原埠頭へ~
  
3. 船内見学会 12:50~14:00 宮古港藤原埠頭県営1号上屋前
  - (11) 「海翔」引渡し  
(岩手県知事 達増拓也、日本財団 常務理事 海野光行、岩手県担い手育成基金代表理事 大井誠治から各校生徒代表へ)
  - (12) テープカット・くす玉開披
  - (13) 「海翔」船内見学会 <漁業実習パネル展示>

■共同実習船「海翔」建造支援に関する参考情報

<概要>

船の所有者：岩手県

使用高校：宮古水産高等学校(岩手県宮古市)、高田高等学校(岩手県陸前高田市)  
久慈東高等学校(岩手県久慈市) ※3校が共同で利用

主な停泊場所：岩手県宮古市(宮古港)

<仕様>

総トン数：171t 全長：長さ34.91m×幅7.30m×深さ3.19m 定員：34名

主機関：中速ディーゼル機関 速力：13.633ノット(試運転最大)

実習内容：漁業実習(サンマ棒受網漁、イカ釣り漁、サケ延縄漁、近海まぐろ漁)

航海実習、機関実習 など

特記事項：最新鋭の機材搭載(LEDサンマ集魚灯の設置、船内外の照明にLED灯を採用など)  
女生徒への配慮に係るトイレや寝室等の設備の追加 など

<総事業費>

992,327,000円 (うち551,592,162円を日本財団が助成し、残額を岩手県及び国が負担)

<これまでの経緯と予定>

2012年11月 支援事業の決定、2013年10月 着工、2014年11月 進水・命名、2015年2月 竣工、  
2015年4月 利用開始

<その他>

1994年からイカ釣り、サンマ棒受、サケ延縄といった漁業実習や体験航海実習で活用してきた  
前共同実習船『翔洋』(139t)は、東日本大震災津波で被災し使用不可となり、廃船となっている。